科目	心理学 (心・健・栄)		単位数	2		
担当教員	多田 美香里			l		
履修対象	臨床心理学科1年春学期·	健康科学科1年春学期•福祉栄養学科	 1年春学期			
目的	心理学には綿密な実証研究によって得られたデータの蓄積で得られた知識もあれば、すぐれた倫理観と論理性に根ざした解釈による知識もある。その両者が混在した形で幅広い研究領域である心理学を成り立たせ、研究領域の幅を広げてもいる。この授業ではすべての研究領域をカバーすることはできないが、基本的な知識を紹介することを通して、心理学の考え方の特徴をつかむことを目指す。					
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)心理学の学術的専門書を読む。 (2)心理学の知識を自分の専門領域に応用する。 「思考・判断」 (1)学術的な心理学と科学的でない心理学の違いを区別する。 (2)心理学の代表的な研究・基礎用語・構成概念について説明できる。					
授業計画						
1	心理学とは、心理学の歴史	2:心理学が扱う対象、細分化された領域	は、心理思想、心理学が成立	した状況、学派		
2	人間の行動特徴:動物と人	人間の行動特徴:動物と人間、生得性と獲得性、初期経験				
3	発達:発達観、言語発達、自我の形成、発達段階、加齢					
4	学習:古典的条件づけ、オペラント条件づけ、観察学習					
5	感覚: 感覚の種類と範囲、感覚間統合					
6	知覚:注意、体制化、恒常	 性、空間と運動				
7	認知:記憶の過程、非言語的記憶、学習プログラム					
8	言語: 音声、運用と理解、概念獲得					
9	思考:問題解決、推論、創造的思考					
10	 動機づけ:内発的動機、社	会的動機、動機の階層と獲得、原因帰属	<u> </u>			
11		ケーション、情動表出、気分と感情				
12	人格:把握と形成、特性と	類型、検査、知能				
13	社会:個人と集団、対人認					
14	臨床:異常心理学、心理ア	セスメント、心理療法論				
15	再び、心理学とは:これまで		 え方の確認、関連する領域			
		ユメ)に基づき、授業をすすめる。この授		的な知識の習得を目指		
な内容		構成概念の理解を確認するため、小テス				
教科書						
教科書名		著者名	出版社	金額		
教科書は指定しない	١					
参考書			1	Į.		
成績評価の基準・ 方法	受講態度、小テスト等の評	価、定期試験の成績等から総合的に評	価する。			
留意点						
	心理学の書籍や論文を読					
				No. GE712003		

科目	心理学概論		単位数 2			
担当教員	鎌田 次郎					
履修対象	臨床心理学科1年秋学期·	健康科学科1年秋学期				
目的		ら心理学が科学としてどんな努力をして身 基礎心理学的知識を身につけます。	き展してきたか、どんな考え方がある	るかを学びな		
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)心理学と臨床心理学に関心をもち、学ぶ意欲を高められる。 (2)心理学と似非心理学の区別がつき、科学的態度が身につく。 「思考・判断」 (1)学んだ心理学用語や理論を使って日常の経験を考えられるようになる。 (2)各分野の心理学の歴史的背景を考えられるようになる。 「表現・技能」 (1)心理臨床においてクライエントの心理を分析するための概念や基本姿勢を得ることができる。 「知識・理解」 (1)心理学の歴史と代表的な心理学理論を知ることができる。 (2)心理学という学問のアウトラインを知ることができる。					
授業計画	T					
1	心理学とは/この講義で何	シ理学とは/この講義で何を学ぶか				
2		>理学の長い過去:哲学者による心のとらえ方				
3	近代心理学成立に影響を	近代心理学成立に影響を与えたウェーバーとフェヒナーの精神物理学				
4	ヴントの研究法と心理学理	ブントの研究法と心理学理論 				
5	近代心理学に影響した生理	近代心理学に影響した生理学、脳科学、進化論				
6	教育や法の現場からの応	教育や法の現場からの応用心理学への刺激 				
7	ガルトンによる統計的アプローチとフランスにおける心理臨床的アプローチ					
8	アメリカにおける心理学の発展:ジェイムズ〜ウィットマー					
9	ヴント心理学の批判勢力:行動主義/精神分析/ゲシュタルト心理学					
10	アメリカ心理学の隆盛:レヴィン/新行動主義					
11	フロイト以降の精神分析学	フロイト以降の精神分析学派				
12	人間性心理学					
13	認知心理学の成立と発展					
14	現代の心理学とこれからの	現代の心理学とこれからの心理学				
15	総復習					
授業形態/具体的 な内容						
教科書						
教科書名		著者名	出版社	金額		
なし、配付資料(たた	どし、書き込み式)					
参考書		 ・ズ①心理学概論/東京大学出版会:臨 房:心理学の新しいかたち2心理学史の	_	」 床心理学/		
成績評価の基準・ 方法	小テストの成績を加味し、	定期試験の成績による。				
留意点	配付資料はすべて書き込み	み式なので授業を欠席すれば分からなく	なります。			
準備学習	配付資料をもとに、何を勉ておくことが望ましい。	強するのか、あらかじめ把握して、できれ	.ば図書館資料で資料の空所部分(こついて考え		
備考			No.	PY421002 HS121003		

科目	心理統計学 I		単位数 2			
—————————— 担当教員	宇惠 弘	≅惠 弘				
履修対象	臨床心理学科1年春学期					
目的	法によってデータが収集さ	、る統計手法の基礎を学ぶ。こころの様子れる。収集されたデータは数字に置き換 するために欠かせないものである。				
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)こころを数値で表現することに関心をもつ。 (2)マスメディアで目にする(耳にする)統計情報に関心をもつ。 「思考・判断」 (1)正しい計算ができているか、また、正しい統計知識の利用ができているか考えることができる。 「技能・表現」 (1)データの数量化、可視化ができる。 「知識・理解」 (1)記述統計と推測統計の説明ができる。 (2)統計的仮説検定について説明ができる。					
授業計画						
1	なぜ心理学に統計が?:こ	ころを数字におきかえる、記述統計と推	測統計			
2	1つの変数の特徴を記述し	1つの変数の特徴を記述しよう1:データとは、尺度水準				
3	1つの変数の特徴を記述しよう2:データの図表化					
4	1つの変数の特徴を記述しよう3:代表値、散布度					
5	1つの変数の特徴を記述しよう4:標準化					
6	2つの変数の特徴を記述しよう1:散布図とクロス集計表					
7	2つの変数の特徴を記述しよう2:共分散、相関係数、相関係数の性質					
8	標本から母集団を推測しよう1:母集団と標本、母集団分布を仮定する					
9	標本から母集団を推測しよ	:う2:正規分布とその性質、標準正規分:	——————————— 布、標準正規分布表			
10	標本から母集団を推測しよ	:う3:標本分布、標準誤差、推定と推定量	= E			
11		:う4:不偏性、不偏分散				
12	統計的仮説検定って何だる					
13		552:有意水準、検定結果の報告	1470-17-11/17			
14		553:両側検定と片側検定、統計的検定				
15		504:統計的仮説検定の手順	11-0017 WEIERAWANT			
授業形態/具体的 な内容	講義に加えて電卓を用いた					
教科書						
教科書名		著者名	出版社	金額		
よくわかる心理統計	学	山田剛史·村井潤一郎	ミネルヴァ書房			
参考書	0 = 1	斤テクニカルブック、森敏昭・吉田寿夫、1 ₿・桧山みぎわ 、2003年、現代数学社	990年、北大路書房			
成績評価の基準・ 方法	宿題、期末テスト、学習意	ッによる総合評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
留意点	宿題(事前学習と事後学習	りは毎時課すので必ず提出すること。特	に、復習を必ず実施すること。			
準備学習	事前学習のための宿題を	是出すること				
備考	宿題の提出はマナバを利用		No.	PY321001		

科目	心理統計学Ⅱ		単位数	2			
担当教員	多田 美香里	田 美香里					
	臨床心理学科1年秋学期						
目的		「心理学の研究で用いる基本的な ではなくその理論的背景を理解し					
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)論文の統計的記述を 「思考・判断」 (1)ニュースやネット等で 「技能・表現」 (1)統計的手法に適合し	で得られる情報に対して科学的・客	'観的判断をもって理解する。				
	「知識・理解」 (1)基本的な心理統計の解析手順を理解する。						
授業計画							
1	カイ2乗検定(1)/適合原	要の検定 まの検定					
2	カイ2乗検定(2)/独立	0イ2乗検定(2)/独立性の検定					
3	復習/カイ2乗検定を用	夏習/カイ2乗検定を用いた研究事例					
4	t検定/独立な2群の平均	検定/独立な2群の平均値差に関するt検定(1)					
5	t検定/独立な2群の平均	検定/独立な2群の平均値差に関するt検定(2)					
6	t検定/対応のあるt検定	検定/対応のあるt検定					
7	復習/t検定を用いた研						
8	分散分析/1要因分散分	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
9	分散分析/1要因分散分						
10		復習/1要因分散分析を用いた研究事例					
11	分散分析/2要因分散分						
12	分散分析/2要因分散分						
13	分散分析/2要因分散分						
14	復習/2要因分散分析を						
15		-///・//)紹介、心理統計の特徴の復習					
授業形態/具体 な内容	的	た計算の演習や書き込み式の課	題、コメントの記入を行う。				
教科書	1						
教科書名		著者名	出版社		金額		
よくわかる心理紀	た計	山田剛史·村井潤一郎	ミネルヴァ書房		2940		
参考書	田中敏・山際勇一郎(19)心理学のためのデータ解析テク 92)ユーザーのための教育・心理 教育のための統計法 サイエンス	統計と実験計画法 教育出版				
成績評価の基準 方法	受講態度、小テスト、課題	堕への取り組み、期末テストにより	総合的に評価する。				
留意点	毎回宿題がある。また、	定期的に課題やコメントの提出をヌ	求める。授業中に電卓を用いた計	算を行う	ことがある。		
準備学習	統計的記述を意識しなか 望ましい。	いる心理学の論文を読んだり、参考	き書など統計に関する本を読むな	どの準備	をしておくことが		
備考				No.	PY321003		

履修対象 臨床(目的 実験と 1	ン・意欲・態度」 心理学練習問題)を定義・判断」 と・表演習問題)をで取りままり、 を対理学規立を対理のでで取りままます。 とを表現のででで取りままます。 では、必須のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	・量的データとその収集方法など、心理等さから学習意欲が高まる。 期的にこなすことから、基本的な学習習のあげられた研究方法について、生産的な、研究デザインの仕方について基礎的な、研究デザインの仕方について基礎的法や手順などを正確に説明できる。ならびに、質的研究や量的研究を正確に続けていることを説明する。 は、でいることを説明する。 は、実験的研究を検討する。 は、ないでいることを説明する。 は、ないていることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 のバイアスを抑える方法を示す。 、実験統制のエラーを検討する。 していることを説明なる。	慣を獲得する。 に批判できる。 り技能を持つ。					
実験と 実験と 実験と では では では では では では では で	と観察の方法、質的の方法、質的の方法、質的の方法、質的の方法、の面を定義の可能を受ける。と観察の方法の面を定義の可能を受ける。とでで取ります。とは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	・量的データとその収集方法など、心理等さから学習意欲が高まる。 期的にこなすことから、基本的な学習習のあげられた研究方法について、生産的な、研究デザインの仕方について基礎的な、研究デザインの仕方について基礎的法や手順などを正確に説明できる。ならびに、質的研究や量的研究を正確に続けていることを説明する。 は、でいることを説明する。 は、実験的研究を検討する。 は、ないでいることを説明する。 は、ないていることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 は、これでいることを説明する。 のバイアスを抑える方法を示す。 、実験統制のエラーを検討する。 していることを説明なる。	慣を獲得する。 に批判できる。 り技能を持つ。					
達成目標 「関心心(1)記書名の (1)記書名の (1)	ン・意欲・態度」 心理学練習問題)を定義・判断」 と・表演習問題)をで取りままり、 を対理学規立を対理のでで取りままます。 とを表現のででで取りままます。 では、必須のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	さから学習意欲が高まる。 期的にこなすことから、基本的な学習習 りあげられた研究方法について、生産的 な、研究デザインの仕方について基礎的 法や手順などを正確に説明できる。 ならびに、質的研究や量的研究を正確に 続評価、注意事項などを説明する。 引いていることを説明する。 非実験的研究を検討する。 非実験的研究法を概観する。 色々な研究デザインを比較検討する。 のバイアスを抑える方法を示す。 、実験統制のエラーを検討する。 一タ提示する方法を詳説する。	慣を獲得する。 に批判できる。 り技能を持つ。					
達成目標 (1)心誤考心能 (2)誤考心能 (1)心誤考心能 (1)知(2) [思う心能 (1)知(2)] [短 (1)] [\Xi (1)	心理学研究法の面定: 課題(練別をで取り 課題(練別)をでで取ります。 記述を表現立てで取ります。 企業論解」で成に必必る法とで、要求では、のの方法、がで、のの方法、がで、のの方法、がで、のの方法、がで、のの方法、がで、のので、のので、のので、のので、のので、のので、のので、のので、のので、	期的にこなすことから、基本的な学習習りあげられた研究方法について、生産的な、研究デザインの仕方について基礎的法や手順などを正確に説明できる。ならびに、質的研究や量的研究を正確に続けていることを説明する。ま実験的研究を検討する。ま実験的研究法を概観する。色々な研究デザインを比較検討する。のバイアスを抑える方法を示す。、実験統制のエラーを検討する。	に批判できる。					
(1)心(2)実 授業計画 1 講義: 2 心理: 3 心理: 4 日常生 5 心理: 6 標本: 7 信頼性 8 実験・ 9 代表値 10 心理: 11 大学・ 12 心理: 13 推測部 14 卒業計 15 授業形態/具体的 な内容	心理学を研究する方法 実験や観察の方法、が 予定と講義内容、成績 学は科学的方法を用 学の調査研究法の基 生活行動を検討する 学研究で用いられるが 抽出法を概説し実験 性と妥当性の区別し や調査レポートでデー 値・分布図・標準偏差	ならびに、質的研究や量的研究を正確に 績評価、注意事項などを説明する。 いていることを説明する。 基礎と実験的研究を検討する。 非実験的研究法を概観する。 色々な研究デザインを比較検討する。 のバイアスを抑える方法を示す。 、実験統制のエラーを検討する。 ータ提示する方法を詳説する。	- 理解し比較ができる。					
授業計画 1 講義語 2 心理語 3 心理語 4 日常語 5 心理語 6 標本期 7 信頼性 8 実験が 9 代表値 10 心理語 11 大学語 12 心理語 13 推測総 14 卒業語 15 沙理語 15 沙理語 15 沙理語	予定と講義内容、成績学は科学的方法を用学の調査研究法の基生活行動を検討する学研究で用いられる。 神出法を概説し実験性と妥当性の区別し や調査レポートでデー値・分布図・標準偏差	横評価、注意事項などを説明する。 引いていることを説明する。 基礎と実験的研究を検討する。 非実験的研究法を概観する。 色々な研究デザインを比較検討する。 のバイアスを抑える方法を示す。 、実験統制のエラーを検討する。 ータ提示する方法を詳説する。						
2 心理 3 心理 4 日常 5 心理 6 標本 7 信頼 8 実験 9 代表 10 心理 11 大学 12 心理 13 推測 14 卒業 15 心理 授業形態/具体的 な内容	学は科学的方法を用学の調査研究法の基生活行動を検討する学研究で用いられる・抽出法を概説し実験性と妥当性の区別し や調査レポートでデー値・分布図・標準偏差	はいていることを説明する。 基礎と実験的研究を検討する。 非実験的研究法を概観する。 色々な研究デザインを比較検討する。 のバイアスを抑える方法を示す。 、実験統制のエラーを検討する。 ータ提示する方法を詳説する。						
3 心理等 4 日常学 5 心理等 6 標本材 7 信頼性 8 実験や 9 代表値 10 心理等 11 大学学 12 心理等 13 推測総 14 卒業計 15 授業形態/具体的な内容	学の調査研究法の基生活行動を検討する 学研究で用いられる 抽出法を概説し実験 性と妥当性の区別し や調査レポートでデー 値・分布図・標準偏差	基礎と実験的研究を検討する。 非実験的研究法を概観する。 色々な研究デザインを比較検討する。 のバイアスを抑える方法を示す。 、実験統制のエラーを検討する。 ータ提示する方法を詳説する。						
3 心理等 4 日常学 5 心理等 6 標本材 7 信頼性 8 実験や 9 代表値 10 心理等 11 大学学 12 心理等 13 推測総 14 卒業計 15 授業形態/具体的な内容	学の調査研究法の基生活行動を検討する学研究で用いられる・抽出法を概説し実験性と妥当性の区別しや調査レポートでデー値・分布図・標準偏差	基礎と実験的研究を検討する。 非実験的研究法を概観する。 色々な研究デザインを比較検討する。 のバイアスを抑える方法を示す。 、実験統制のエラーを検討する。 ータ提示する方法を詳説する。						
5 心理性 6 標本打 7 信頼性 8 実験や 9 代表値 10 心理性 11 大学生 12 心理性 13 推測網 14 卒業計 15 世業形態/具体的な内容	学研究で用いられる 抽出法を概説し実験 性と妥当性の区別し や調査レポートでデー 値・分布図・標準偏差	色々な研究デザインを比較検討する。 のバイアスを抑える方法を示す。 、実験統制のエラーを検討する。 ータ提示する方法を詳説する。						
6 標本 7 信頼性 8 実験や 9 代表値 10 心理等 11 大学生 12 心理等 13 推測総 14 卒業計 15 授業形態/具体的な内容	抽出法を概説し実験性と妥当性の区別し や調査レポートでデー値・分布図・標準偏差	のバイアスを抑える方法を示す。 、実験統制のエラーを検討する。 ータ提示する方法を詳説する。						
7 信頼性 8 実験や 9 代表値 10 心理性 11 大学生 12 心理性 13 推測網 14 卒業計 15 心理性 15 で内容	性と妥当性の区別し や調査レポートでデー 値・分布図・標準偏差	、実験統制のエラーを検討する。 ータ提示する方法を詳説する。						
8 実験や 9 代表値 10 心理等 11 大学生 12 心理等 13 推測総 14 卒業計 15 心理等 投業形態/具体的な内容	や調査レポートでデー値・分布図・標準偏差	ータ提示する方法を詳説する。						
9 代表(10 心理性) 11 大学生 12 心理性 13 推測網 14 卒業計 15 心理性 15 次内容	値・分布図・標準偏差							
10 心理等 11 大学生 12 心理等 13 推測総 14 卒業計 15 心理等 授業形態/具体的な内容		 きと分布や基礎統計を学習する。		実験や調査レポートでデータ提示する方法を詳説する。				
11 大学生 12 心理性 13 推測編 14 卒業計 15 心理性 授業形態/具体的な内容	半年 ウィーナン・フィー・							
12 心理与 13 推測統 14 卒業計 15 心理与 授業形態/具体的 な内容	子研究における4つ(の尺度レベルの違いを説明する。	心理学研究における4つの尺度レベルの違いを説明する。					
13 推測編 14 卒業計 15 心理性 授業形態/具体的 な内容	生に必要なノンパラス	トリック検定法を紹介する。						
14 卒業計 15 心理等 授業形態/具体的 な内容	 学研究に必須なパラ	メトリック検定法を区別する。						
15 心理等 授業形態/具体的 な内容	推測統計で使用する有意水準・帰無仮説の棄却方法を示す。							
授業形態/具体的な内容	卒業論文でも使える研究レポートの書き方を説明する。							
な内容	学研究法のまとめとし	して今学期学習した内容を概観する。						
教科書								
1								
教科書名		著者名	出版社	金額				
心理学研究法入門 心理	学エレメンタルズ	アン・サール著 宮本聡介訳 渡辺真E 美訳	新曜社	2200円				
参考書				1				
成績評価の基準・単位語	積評価の基準・ 単位認定に関しては、定期試験で判断する。定期試験については、担当教員の講義の理解を問う。講							
留意点								
準備学習 開講被		7 H 2 H 7 H 2 C C C C C C C C C C C C C C C C C C						
備考	や補講期間中に小テ	スを配布するので、それに基づき週に18	時間程度の準備学習を期待する。					

科目	臨床心理アセスメント I (ハ	Σ Α)	単位数	2		
担当教員	永田 俊代、大西 見也子		l			
履修対象	臨床心理学科2年春学期	床心理学科2年春学期				
目的	臨床場面で使われることの) 多い代表的なアセスメントを体験し、施	 行法、解釈法の実際を学び	ます。		
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)臨床アセスメントに関心を持つ。 (2)倫理について注意を払うようになる。 「思考・判断」 (1)臨床心理アセスメントを体験し、検査者の役割や姿勢が分かるようになる。 (2)臨床心理検査を受けるクライエントの気持ちが分るようになる。 「技能・表現」 (1)質問紙法を中心に具体的な施行法を修得する。 (2)心理所見の書き方を習得する。					
	「知識・理解」 (1)質問紙法を中心に臨床心理アセスメントとは何かが分かる。					
	(1) 貝미祇広を中心に踊り	ド心理アセスメントとは何かか分かる。				
1		昨年心理アセス かんとは何かを説明し	+ 才 (田 出 · シ 田)			
2		受業のオリエンテーション/臨床心理アセスメントとは何かを説明します(担当:永田)。 				
3	IEO-FFI について概説します(担当:永田)。					
4		NEO-FFI の実習と解釈について説明します(担当:永田)。				
5		所版TEGⅡの概説について、ビデオ鑑賞を行います(担当:永田)。				
6	新版TEGⅡの実習と解釈について説明します(担当:永田)。 塩床心理アセスメントⅠ前半のまとめ/事例の紹介と事例に即したアセスメントの留意点などについて解説します(担					
7	当:永田)。					
8	インテーク面接とは何かを説明します(担当:大西)。					
9	内田クレペリン精神検査に	ついて概説します(担当:大西)。				
10	内田クレペリン精神検査の	実習と解釈について説明します(担当:	大西)。			
11	CMI 健康調査票、STAI	の実習と解釈について説明します(担当	:大西)。			
12	P-Fスタディ について概説	します(担当:大西)。				
13	P-Fスタディの実習と解釈について説明します(担当:大西)。					
14	臨床心理アセスメントの倫	理、春学期に紹介したアセスメントのまと	:めをします(担当:永田・大	西)。		
15	春学期に紹介したアセスメ	ントの振り返りと授業内試験を実施します	す(担当:永田・大西)。			
授業形態/具体的 な内容		、取り上げるテストの順番が前後するこ。 式の体験学習が中心となります。	とがあります。			
—————————————————————————————————————						
————————— 教科書名		著者名	出版社	金額		
参考書						
成績評価の基準・ 方法	授業態度、提出物、授業内	試験などにより総合的に評価します。				
留意点		用紙を大学の指示に従って購入し、毎回 分失しないように管理し、毎回持参して本		:		
準備学習	特に予習は必要としません	が、復習を確実に履行して下さい。				
備考				No. PY422001		

科目	臨床心理アセスメントⅡ (心	(A¢	単位数	2	
担当教員	粟村 昭子、大西 見也子	,	十世級	<u></u>	
原修対象	臨床心理学科2年秋学期				
目的		 Lる個別式知能検査や投映法について、	 	で学ぶ	
Пнэ	「関心・意欲・態度」	いる旧が氏体形は其ではの面について、	体状子自と時我の一个立く	. (+ %)	
	「傷心 忠敬 忠及」 (1)個別式検査を積極的に	に体験する。			
	(2)自分自身で心理検査の	D解釈を試みる。			
	「思考·判断」				
		用い方がわかるようになる。			
達成目標	(2)投映法の基礎理論にて	ついてわかるようになる。			
连队日保	「技能・表現」 (1)個別式知能検査を部分	}的に施行することができる。			
	(2)ロールシャッハテストのサイン化がある程度できるようになる。				
	「知識・理解」				
	(1)集団式検査と個別式検査の違いを正しく理解する。				
	(2)知能検査の種類と知能指数の考え方の違いについて説明できる。				
133 44 = 1	(3)投映法と質問紙法の遺	置いを止しく埋解する。			
授業計画	1±181±1= = 1.= 15 1 1 1±		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
1	はじめに、アセスメントとは/授業のやり方、約束事、歴史的背景の紹介(担当:北村・粟村〉				
2	アセスメントの基礎知識(1)/知能検査の基礎知識の獲得(2~7回 担当:北村)				
3	アセスメント実習(1)/知能検査の施行法の獲得 (WISC)				
4	アセスメント実習(2)/知前	能検査の施行法の獲得 (WISC)			
5	アセスメント実習(3)/知能検査の施行法の獲得(K-ABC)				
6	アセスメント実習(4)/知能検査の施行法の獲得(K-ABC)				
7	アセスメントの基礎知識(2)/知能指数の基礎理論と算出方法の獲得・知能検査のまとめ				
8	アセスメントの基礎知識(3)/投映法の基礎知識の獲得 (8~14回 担当: 粟村)				
9	アセスメントの基礎知識(4)/ロールシャッハ・テストの基礎知識の	獲得		
10	アセスメントの基礎知識(5)/ロールシャッハ・テストの基礎知識の	獲得		
11	アセスメントの基礎知識(6)/描画テストの基礎知識の獲得			
12	アセスメント実習(5)/描画テストの施行法と解釈理論の獲得				
13	アセスメントの基礎知識(6)/SCTの基礎理論の獲得				
14	アセスメントの基礎知識(7)/SCTの基礎理論の獲得				
15	倫理とまとめ/倫理につい	ての知識の獲得と平常試験 (担当:北村	· 粟村)		
授業形態/具体的					
な内容					
教科書					
教科書名		著者名	出版社	金額	
参考書			<u> </u>		
成績評価の基準・ 方法	授業態度、試験により総合	 的に評価する。			
留意点	臨床心理アセスメント I と同認めない。	司様、授業で使用する心理テスト用紙を打	寺参して本講義に臨むこと。	私語、大幅な遅刻は	
準備学習	準備学習 特に予習は必要	としませんが、復習を確実に履行してくナ	ざさい 。		

科目	臨床心理アセスメントⅢ		単位数	2	
担当教員	櫻井 秀雄		丰 拉奴	2	
	協床心理学科3年春学期				
履修対象			カッド おり は は は は は は は は は は は は は は は は は は		
目的	知能・発達検査を中心に、事例を踏まえて演習する。特に、近年、不登校・引きこもり児童や被虐待児に何らかの発達障害が認められることを鑑み、「軽度発達障害」のアセスメントについて取り上げる。 具体的には、最初に乳幼児健診に最も適用される「新版K式発達検査2001」について、続いて軽度発達障害のアセスメントに有効なWISC-皿・IV/WAIS-皿やK-ABC等について、その検査法及び解釈法について学ぶ。さらには、知的発達症・自閉スペクトラム症(広汎性発達障害)・特異的発達症(学習障害)・注意欠如/多動性障害等の知能・発達検査上の特徴を概観しつつ、それぞれのアセスメントに基づく臨床心理学的介入法を紹介する。				
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1) 受動的ではなく自ら学ぶ意思を示す。 「思考・判断」 (1) 他人に言われるのではなく自ら学ぼうとする。 (2) 発達や知的能力のアセスメント結果から適切な指導・助言を判断できる。 (3) 発達や知的能力のアセスメント結果に基づく環境調整等の決定をするプロセスを思考する。 (4) 以上より、臨床心理アセスメントついて、総合的に思考・判断できるようになる。 「技能・表現」 (1) 基礎的な臨床心理アセスメントの所見を作成できるようになる。 「知識・理解」 (1) 知能構造について知る。 (2) 発達や知的能力のアセスメント方法を理解する。				
授業計画					
1	はじめに/授業のオリエンテ	·`\/a`\/			
2		総論(1)/知能・発達診断とは何か?			
3	総論(2)/知能構造について				
4	総論③/知能・発達指数について~比IQと偏差IQ				
5	心理検査の活用(1)/新版K式発達検査法2001/姿勢·運動領域				
6		K式光達検査法2001/契男 建動模域 K式発達検査法2001/認知・適応領域にご	ンして(第1葉~第2葉)		
7		K式光達検査法2001/認知・適応領域にご K式発達検査法2001/認知・適応領域にご			
8		K式光達検査法2001/認知・適応領域にご K式発達検査法2001/認知・適応領域にご			
9		K式発達検査法2001/言語・社会領域にご			
10		K式発達検査法2001/言語・社会領域につ			
11		バス先達検査法2001/首語・任芸模域に フスラー法による知能検査法(WISC-Ⅲ・)			
12		7スラー法による知能検査法(WAIS—R: 7スラー法による知能検査法(WAIS—R:			
13	5 - D - C - C - C - C - C - C - C - C - C	BCの実施方法と解釈について	<u> </u>		
14	S 1912 11 12 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	め方/個別教育計画(IEP)と教育評価			
15	発達検査と神経発達症おる				
授業形態/具体的 な内容		じプリントを用意する。板書は最小限にし	、各自が要約筆記に努める	ようにすること。	
教科書					
教科書名		著者名	出版社	金額	
指定しない					
適宜配布するプリントに加え、下記の文献を参考図書とする。 福祉現場における臨床心理学の展開〜医学モデルとライフモデルの統合を目指して/袴田俊一・三田英二・櫻井秀雄・西村武・寶田玲子(久美出版) 新版K式発達検査2001実施手引書/生澤雅夫、松下裕、中瀬惇編著/京都国際社会福祉センター、新版K式発達検査2001年版 標準化資料と実施法/新版K式発達研究会/ナカニシヤ出版、発達相談と援助 新版K式発達検査2001を用いた心理臨床/川畑 隆 他/ミネルヴァ書房					

成績評価の基準・ 方法	 授業態度、レポート、講義内容に対する疑問やコメントなども含めた総合で評価する。 			
留意点	授業には真剣に取り組んでほしい。特に他の受講者に迷惑を及ぼすような態度・行動は厳に慎むこと。			
準備学習	毎回の講義についてのノートおよび配付する資料は大切に保管し、必ず、復習して、次回に臨むこと。			
備考	講義テーマ等については、変更や入れ替えの可能性がある。	No.	PY622001	

歴夢対象	科目	心理学基礎実験 I (心A)		単位数	1	
の理学の基礎分野の題材をもとに簡単な実験を自ら実施し、科学における実験の意義と方法についての理解を のます。すなわち、心理の数量化・各般化の方法、人間心理の一般的傾向の検討方法、また、仮説と解註という料 のます。方式を受けまず、個別平例の診断技術の再算には、このよう方式を可愛、現金とれてきた人間の です。既成の影は技術を無単に関くサイスも技術ではなく、その診断指針の背景理論とデータを理解できる心理 就保業となるためにも本類は重要な学習といえます。 「関心・意味・恋族」 「関心・意味・恋族」 「別の・意味・恋族」 「思考・判断」 (1)・心理中の学相加えを読み、古典的な研究例を追試する。 「思考・判断」 (1)・定理中の学相加えを読み、古典的な研究例を追試する。 「思考・判断」 (1)・実験を通して実証的な考え方をする。 「技能・表現」 (1)・一学、素計・統計的分析を行い、科学論文を作成する。 「知識・理解」 (1)・一学、実計・統計的分析を行い、科学論文を作成する。 「知識・理解」 (1)・一学、実計・統計的分析を行い、科学論文を作成する。 「知識・理解」 (1)・一学、実計・統計的分析を行い、科学論文を作成する。 「知識・理解」 (1)・一学、主計・統計の分形成) セ ルート作成検書で(1)・受講の注意点の確認、レポートの書き方の概説、レポート作成検書用課題の実施(「結果」、「考察」部分の完成) 地に国的の。また、の事故とは「他にない」と「他との事目にあたる刺激の底を指し、感覚の知るの程度(後別)を示します。この実習では独立点面を表現と、関語の測定は、シボート作成技術と同りに関ラけます。 地立画面の測定(2)・実験を実施し、集計作業を行います。 差別位置効果(2)・実験を実施し、集計作業を行い、リホーム系列位置によって想起に違しが生じるかどうかを検討します。この課は、記述の学習(1)・記述の主題を理解し、実際で書かめてみましまう。この問は活動の服象および実験方法の解説もする。 表別位置効果(2)・実験を実施し、集計作業を行います。 第一条列位置効果(2)・実験を実施し、集計作業を行います。 第一系列位置効果(3)・データの整理を行い、分析方法について解説します。 第一系列位置効果(3)・データの整理を行い、分析方法について解説します。 第一条列位置効果(4)・レポート作成指導と個別質同度付を行います。 対定運動学習(4)・レポート作成指導と個別質同度付を行います。 知定運動学習(3)・デーの整理を行い、分析方法について解説します。 第一条人製造方法を解説します。 第一の主義を表記、ます。 を表名 出版社 全額 現実を表の表別にした。で表に表しているで異なります。実習の報告書としてレポートを提出し、添解を互供の表別を表しまします。 要者名 出版社 全額 現実・実験への参加度、類様、文化を含画と向けてびたさい。 を記述を確認します。 を記述と述え、表別の表述に表します。 を記述と言います。 を記述と言いまするまされませます。 を記述と言いまするままませませませませませませませませませませませませませませませませませま	担当教員	多田 美香里、木村 年晶	、石橋 遼	·		
おます。すなわら、心理の設定化・容根にの方法、人間心理の一般的傾向の検査方法、また。仮説と検証という料の基本方法を学びます。個別事例の診断技術の背景には、このような方法で研究・調査されてきた「人間一般」についてのデータの基積があります。医学において、正常な身体の状態を知らずら身体の実常を診析できないのと同じです。既成の診断技術を離止料に受け入れる技術屋ではなく、その診断指針の胃景理論とデータを理解できるの3額に変となるため、上来消亡業を全事書といえます。 「関心・変数・聴度」 (1)の理念の学情放文を読み、古典的な研究例を追試する。 「思考・判断」 (1)を要との学情放文を読み、古典的な研究例を追試する。 「思考・判断」 (1)で集計・統計的分析を行い、科学論文を作成する。 「思考・判断」 (1)の理理の学者の方をする。 「思考・判断」 (1)の理理と、受試的な研究例を追試する。 「思考・判断」 (1)の理理と、受試的な研究例を追試する。 「思考・判断」 (1)の理理と、受試的な研究例を追試する。 「思考・判断」 (1)の理理と、受試的な研究例できる。 技術・表別」 (1)の理理と、受試を経証について説明できる。 「知治・実別」 (1)の理理と、受試検証について説明できる。 「知治・実別」 (1)の理理と(2)に一十作成練習用課題の実施(「発見」、「考験」的分の完成) 「起念層の測定(2)に、一性成語と思えに、「原備の測定法を学びます。この回は実験の意象と実験方法を解説します。 「起念層の測定(2):実験を実施し、集計作業を行います。。 「知念層の測定(2):実験を実施し、集計作業を行います。 無公園の測定(2)・実験を実施し、集計作業を行います。 「無公園の測定(2)・実験を実施、上来計作業を行います。 「実験で進めからよれよう。の回記を記を思想といり集的とよの保護と行います。 系列位置効果(3):デークの整理を行い、分析方法について解説します。 「実験を選め方法を解説し、ボート作成計學と個別質問を付を行います。 第一人位置効果(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 10 無別の事定(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 11 知覚運動学室(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 12 知覚運動学室(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 13 知覚運動学室(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 22 知覚運動学室(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 23 知覚運動学室(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 24 知覚運動学室(3)・データの整理を行い、分析方法について解説します。 25 素別の実施を通ずで加に行います。服養は原に必ずにで観ります。実置の報告書としてレポートを提出し、消除を解すると関係の基準、表記の対します。 25 表別が開発したいで確認します。 26 表別が開発したいではでいて確認します。 27 知覚運動学室(3)・データの整理を行い、分析方法について解説します。 27 知覚運動学室(4)・レポート作成計學と同いでを表します。 28 表別を記述します。 28 表別が開発したいでは、数別を表します。 28 表別を書としてレポートを提出していて解説します。 28 表別を書としてレポートを提出していて解説します。 25 表別が開発したいでは、表記を行います。 26 を記述したいでは、表記を行います。 27 知覚運動学では、2 またりに表記を行いていて解説します。 28 表別を言述したいでは、表記を行います。 28 表別を言述したいでは、表記を記述していて解説します。 28 表別を言述したいでは、表記を述れているには、表記を行います。 28 表別を言述しませ、表記を行いませ、表記を行いませ、表記を行いているには、またりになっているには、またりになっているには、またりにないているには、またりにないているには、またりにないているには、またりにないているにないているにないているには、またしいでは、またしないるにないているにないでは、またしないているにないでは、またりにないているにないているにないているにないているにないているにないているにないているにないているにないているにないているにないているにないているにないでは、またしないているにないでは、またりにないているにないているにないているにないでは、またりにないているにないではないないでは、またしないではないないではないないではないないではないないではないないではないないではないないではないないないない	履修対象	臨床心理学科2年春学期				
(1)・心理学の学術論文を読み、古典的な研究例を追試する。 「思考・判断」 (1) 実験を通して実証的な考え方をする。 「技能・表現」 (1) で一9集計・統計的分析を行い、科学論文を作成する。 「知識・理解」 (1) 心理測定、仮説検証について説明できる。 授業計画 ガイダンスとレポート作成練習(1): 受講の注意点の確認、レポートの書き方の概談、レポート作成練習用課題の実施(「結果」、「考察」部分の完成) 利と点間の測定(1): 間値とは「感じない」と「感じる」との境目にあたる刺激の値を指し、感覚の鋭さの程度(感度)を 示します。この実習では触2点間を測定し、限値の測定法を学びます。この回は実験の意義と実験方法を解説します。 4	目的	心理学の基礎分野の題材をもとに簡単な実験を自ら実施し、科学における実験の意義と方法についての理解を深めます。すなわち、心理の数量化・客観化の方法、人間心理の一般的傾向の検証方法、また、仮説と検証という科学の基本方法を学びます。個別事例の診断技術の背景には、このような方法で研究・調査されてきた「人間一般」についてのデータの蓄積があります。医学において、正常な身体の状態を知らずに身体の異常を診断できないのと同じです。既成の診断技術を無批判に受け入れる技術屋ではなく、その診断指針の背景理論とデータを理解できる心理臨床家となるためにも本講は重要な学習といえます。				
1 施(「自め」、「方法」部分の完成) 2 レポート作成練習(1): 受講の注意点の確認、レポートの書き方の概説、レポート作成練習用課題の実施(「自り」、「方法」部分の完成)	達成目標	(1)心理学の学術論文を読み、古典的な研究例を追試する。 「思考・判断」 (1)実験を通して実証的な考え方をする。 「技能・表現」 (1)データ集計・統計的分析を行い、科学論文を作成する。 「知識・理解」				
1 施(「目的」、「方法」部分の完成) 2 レポート作成練習(2):レポート作成練習用課題の実施(「結果」、「考察」部分の完成)	授業計画	.				
触2点間の測定(1): 間値とは「感じない」と「感じる」との境目にあたる刺激の値を指し、感覚の鋭さの程度(感度)を示します。この実習では触2点間を測定し、関値の測定法を学びます。この回は実験の意義と実験方法を解説します。 4 触2点間の測定(2): 実験を実施し、集計作業を行います。 6 触2点間の測定(3): データの整理を行い、分析方法について解説します。 6 触2点間の測定(4): レポート作成指導と個別質問受付を行います。 系列位置効果(1): 記銘材料リストの記銘と想起を行い、リストの系列位置によって想起に違いが生じるかどうかを検討します。この実験は、記憶の仕組みを考える上で歴史的にも非常に重要な実験です。その意義を理解し、実際に実験で確かめてみましょう。この回は記憶の現象および実験方法の解説を行います。 8 系列位置効果(2): 実験を実施し、集計作業を行います。 9 系列位置効果(3): データの整理を行い、分析方法について解説します。 10 系列位置効果(4): レポート作成指導と個別質問受付を行います。 11 知覚運動学習(1): 定の実験では、鏡映描写の課題を用いて学習の転移について考えていきます。この回は実験の意義と実験方法を解説します。 12 知覚運動学習(3): データの整理を行い、分析方法について解説します。 12 知覚運動学習(3): データの整理を行い、分析方法について解説します。 13 知覚運動学習(3): データの整理を行い、分析方法について解説します。 14 知覚運動学習(3): データの整理を行い、分析方法について解説します。 15 実習のまとめ: 添削したレポートを成指導と個別質問受付を行います。 東書のまとめ: 添削したレポートを例に、改善点について確認します。 3つの実験を4週ずつ順に行います。順番は班によって異なります。実習の報告書としてレポートを提出し、添削を受な内容 な内容 が内容 が内容 が内容 が内容 が内容 が内容	1	ガイダンスとレポート作成練習(1):受講の注意点の確認、レポートの書き方の概説、レポート作成練習用課題の実施(「目的」、「方法」部分の完成)				
3 示します。この実習では触2点間を測定し、関値の測定法を学びます。この回は実験の意義と実験方法を解説します。 4 触2点間の測定(2):実験を実施し、集計作業を行います。 5 触2点間の測定(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 6 触2点間の測定(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 不列位置効果(1):記銘材料リストの記銘と想起を行い、リストの系列位置によって想起に違いが生じるかどうかを検討します。この実験は、記憶の仕組みを考える上で歴史的にも非常に重要な実験です。その意義を理解し、実際に実験で確かめてみましよう。この回は記憶の現象および実験方法の解説を行います。 8 系列位置効果(2):実験を実施し、集計作業を行います。 9 系列位置効果(2):実験を実施し、集計作業を行います。 10 系列位置効果(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 11 知覚運動学習(1):この実験では、鏡映描写の課題を用いて学習の転移について考えていきます。この回は実験の意義と実験方法を解説します。 12 知覚運動学習(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 13 知覚運動学習(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 14 知覚運動学習(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 15 実習のまとめ:添削したレポートを根指導と個別質問受付を行います。 ま著と実験方法を解説します。 16 知覚運動学習(3):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 実習のまとめ:添削したレポートを別に、改善点について確認します。 17 実習のまとめ:添削したレポートを別に、改善点について確認します。 2 のの実験を4週ずつ順に行います。順番は短によって異なります。実習の報告書としてレポートを提出し、添削を受け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 2 知識を対します。 第 本名 出版社 金額 教科書 教科書 教科書 教科書 教科書は指定せず、教員が用意したレジュメに基づいて検索をすすめます。 古版料で表述といる。 古版料で表述といる。 古版料では、単位を設定しません。 日本語を提出を呼び、表述の理解でレポートを提出しなければ単方法、単位を設定しません。 日本語を使いている場合は、単位を設定しません。 日本語を持たいたいている場合は、単位を設定しません。 日本語を持たいます。 日本語を対したいたいたが、対しないませ、表述を持定しません。 日本語を提出を対したいたいたいに表述を持たいたが、対しないませ、表述を提出しなければ単位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写り行為など)の疑いがある場合は、単位を設定しません。 日本語を表述を呼び、対しないます。 日本語を表述に適した環境がなります。 日本語を表述を呼び、対しないます。 日本語を表述を持たいたいに表述を対します。 日本語を表述を持たいたいたいに表述を持定します。 日本語を表述を持定します。 日本語を表述を表述しませ、表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	2	レポート作成練習(2):レオ	《一ト作成練習用課題の実施(「結果」、「お	考察」部分の完成)		
5 触2点関の測定(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 6 触2点関の測定(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 系列位置効果(1):記銘材料リストの記銘と想起を行い、リストの系列位置によって想起に違いが生じるかどうかを検討します。この実験は、記憶の仕組みを考える上で歴史的にも非常に重要な実験です。その意義を理解し、実際に実験で確かめてみましょう。この回は記憶の現象および実験方法の解説を行います。 8 系列位置効果(2):実験を実施し、集計作業を行います。 9 系列位置効果(2):実験を実施し、集計作業を行います。 10 系列位置効果(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 11 知覚運動学習(1):この実験では、鏡映描写の課題を用いて学習の転移について考えていきます。この回は実験の意義と実験方法を解説します。 12 知覚運動学習(2):実験を実施し、集計作業を行います。 13 知覚運動学習(2):天験を実施し、集計作業を行います。 14 知覚運動学習(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 15 知覚運動学習(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 15 知覚運動学習(4):レポートを別に、改善点について確認します。 16 実習のまとめ:添削したレポートを別に、改善点について確認します。 17 といポートを提出し、添削を受け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。実習の報告書としてレポートを提出し、添削を受け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 数科書 数科書名 数科書は指定せず、教員が用意したレジュメに基づいて授業をすすめます。 2 他理学実験指導研究会(1985):実験とテスト=心理学の基礎 培風館 成績評価の基準・授業・実験への参加度、態度、レポートによって総合的に評価します。すべての課題でレポートを提出しなければ単方法 位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業・実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	3					
6 触2点関の測定(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。	4	触2点閾の測定(2):実験を	と実施し、集計作業を行います。			
不列位置効果(1):記銘材料リストの記銘と想起を行い、リストの系列位置によって想起に違いが生じるかどうかを検討します。この実験は、記憶の仕組みを考える上で歴史的にも非常に重要な実験です。その意義を理解し、実際に実験で確かめてみましょう。この回は記憶の現象および実験方法の解説を行います。 8 系列位置効果(2):実験を実施し、集計作業を行います。 9 系列位置効果(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 10 系列位置効果(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 11 知覚運動学習(1):この実験では、鏡映描写の課題を用いて学習の転移について考えていきます。この回は実験の意義と実験方法を解説します。 12 知覚運動学習(2):実験を実施し、集計作業を行います。 13 知覚運動学習(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 14 知覚運動学習(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 15 実習のまとめ:添削したレポート作成指導と個別質問受付を行います。 「実習のまとめ:添削したレポートを例に、改善点について確認します。 「表習のまとめ:添削したレポートを例に、改善点について確認します。 「表習のまとめ:添削したレポートを例に、改善点について確認します。 「表習のまとめ:添削したレポートを提出し、添削を受け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 「表習のまとめ:添削したレポートを提出し、添削を受け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 参考書 松利書 教科書 教科書 教科書 教科書 教科書 教科書 教科書 (「基づいて授業をすすめます。 「理学実験指導研究会 (1985)、実験とテスト=心理学の基礎 培風館 成績評価の基準・ 方法 位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業・実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験の理が、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	5	触2点閾の測定(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。				
7 検討します。この実験は、記憶の仕組みを考える上で歴史的にも非常に重要な実験です。その意義を理解し、実際に実験で確かめてみましょう。この回は記憶の現象および実験方法の解説を行います。 8 系列位置効果(2):実験を実施し、集計作業を行います。 9 系列位置効果(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 10 系列位置効果(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 11 知覚運動学習(1):この実験では、鏡映描写の課題を用いて学習の転移について考えていきます。この回は実験の意義と実験方法を解説します。 12 知覚運動学習(2):実験を実施し、集計作業を行います。 13 知覚運動学習(2):実験を実施し、集計作業を行います。 14 知覚運動学習(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 15 実習のまとめ:添削したレポート作成指導と個別質問受付を行います。 授業形態/具体的な内容 17、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 8 教科書 教科書 教科書名 教科書としてレポートを提出し、添削を受け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 参考書 心理学実験指導研究会(1985).実験とテスト=心理学の基礎 培風館 成績評価の基準・ 方法 位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	6	触2点閾の測定(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。				
9 系列位置効果(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 10 系列位置効果(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 11 知覚運動学習(1):この実験では、鏡映描写の課題を用いて学習の転移について考えていきます。この回は実験の意義と実験方法を解説します。 12 知覚運動学習(2):実験を実施し、集計作業を行います。 13 知覚運動学習(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 14 知覚運動学習(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 15 実習のまとめ:添削したレポートを例に、改善点について確認します。 15 実習のまとめ:添削したレポートを例に、改善点について確認します。 17 接業形態/具体的な内容は、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。実習の報告書としてレポートを提出し、添削を受け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 数科書 数科書名 蓄者名 出版社 金額 数科書名 数科書は指定せず、教員が用意したレジュメに基づいて授業をすすめます。 を額 を育書 心理学実験指導研究会(1985)、実験とテスト=心理学の基礎・培風館 成績評価の基準・ 技業・実験への参加度、態度、レポートによって総合的に評価します。すべての課題でレポートを提出しなければ単位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	7	系列位置効果(1):記銘材料リストの記銘と想起を行い、リストの系列位置によって想起に違いが生じるかどうかを検討します。この実験は、記憶の仕組みを考える上で歴史的にも非常に重要な実験です。その意義を理解し、実際に実験で確かめてみましょう。この回は記憶の現象および実験方法の解説を行います。				
10 系列位置効果(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 11 知覚運動学習(1):この実験では、鏡映描写の課題を用いて学習の転移について考えていきます。この回は実験の意義と実験方法を解説します。 12 知覚運動学習(2):実験を実施し、集計作業を行います。 13 知覚運動学習(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 14 知覚運動学習(4):レポートを例に、改善点について解説します。 15 実習のまとめ:添削したレポートを例に、改善点について確認します。 授業形態/具体的な内容 け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 教科書 教科書名	8	系列位置効果(2):実験を	 実施し、集計作業を行います。			
知党運動学習(1):この実験では、鏡映描写の課題を用いて学習の転移について考えていきます。この回は実験の意義と実験方法を解説します。 12 知党運動学習(2):実験を実施し、集計作業を行います。 13 知党運動学習(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 14 知党運動学習(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 15 実習のまとめ:添削したレポートを例に、改善点について確認します。 7 表別の実験を4週ずつ順に行います。順番は班によって異なります。実習の報告書としてレポートを提出し、添削を受け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 ※教科書 ※教科書 ※教科書 ※教科書 ※教科書は指定せず、教員が用意したレジュメに基づいて授業をすすめます。 ※成績評価の基準・ 方法 ・ 位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 図意点 ・ 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 ※機学習 ・ 実験の理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	9	系列位置効果(3):データ	の整理を行い、分析方法について解説し	ます。		
11	10	系列位置効果(4):レポー	ト作成指導と個別質問受付を行います。			
13 知覚運動学習(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。 14 知覚運動学習(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 15 実習のまとめ:添削したレポートを例に、改善点について確認します。 投業形態/具体的 3つの実験を4週ずつ順に行います。順番は班によって異なります。実習の報告書としてレポートを提出し、添削を受け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 数科書 数科書名 数科書は指定せず、教員が用意したレジュメに基づいて授業をすすめます。 参考書 心理学実験指導研究会(1985).実験とテスト=心理学の基礎 培風館 成績評価の基準・ 方法 位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	11	知覚運動学習(1):この実験では、鏡映描写の課題を用いて学習の転移について考えていきます。この回は実験の 意義と実験方法を解説します。				
14 知覚運動学習(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。 15 実習のまとめ:添削したレポートを例に、改善点について確認します。 授業形態/具体的 3つの実験を4週ずつ順に行います。順番は班によって異なります。実習の報告書としてレポートを提出し、添削を受な内容 け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 教科書 教科書名 著者名 出版社 金額 教科書は指定せず、教員が用意したレジュメに基づいて授業をすすめます。 参考書 心理学実験指導研究会(1985).実験とテスト=心理学の基礎 培風館 成績評価の基準・ 授業・実験への参加度、態度、レポートによって総合的に評価します。すべての課題でレポートを提出しなければ単方法 位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	12	知覚運動学習(2):実験を	実施し、集計作業を行います。			
15 実習のまとめ:添削したレポートを例に、改善点について確認します。 授業形態/具体的 な内容 け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 教科書 教科書名 著者名 出版社 金額 教科書は指定せず、教員が用意したレジュメ に基づいて授業をすすめます。 *** ** ** ** ** ** ** ** **	13	知覚運動学習(3):データ	の整理を行い、分析方法について解説し	 ます。		
授業形態/具体的 な内容 おの実験を4週ずつ順に行います。順番は班によって異なります。実習の報告書としてレポートを提出し、添削を受な内容 教科書 教科書名 著者名 出版社 金額 教科書は指定せず、教員が用意したレジュメに基づいて授業をすすめます。 参考書 心理学実験指導研究会 (1985). 実験とテスト=心理学の基礎 培風館 成績評価の基準・ 授業・実験への参加度、態度、レポートによって総合的に評価します。すべての課題でレポートを提出しなければ単位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	14	知覚運動学習(4):レポー	ト作成指導と個別質問受付を行います。			
な内容 け、修正を繰り返しながら、科学論文を書く力を養います。 教科書 教科書名 著者名 出版社 金額 教科書は指定せず、教員が用意したレジュメに基づいて授業をすすめます。 参考書 心理学実験指導研究会 (1985). 実験とテスト=心理学の基礎 培風館 成績評価の基準・ 授業・実験への参加度、態度、レポートによって総合的に評価します。すべての課題でレポートを提出しなければ単位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	15	実習のまとめ:添削したレア	ポートを例に、改善点について確認します	•		
教科書名 著者名 出版社 金額 教科書は指定せず、教員が用意したレジュメに基づいて授業をすすめます。 参考書 心理学実験指導研究会 (1985). 実験とテスト=心理学の基礎 培風館 成績評価の基準・ 技業・実験への参加度、態度、レポートによって総合的に評価します。すべての課題でレポートを提出しなければ単位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	授業形態/具体的	3つの実験を4週ずつ順に	ういます。順番は班によって異なります。	実習の報告書としてレポー	トを提出し、添削を受	
教科書名 著者名 出版社 金額 教科書は指定せず、教員が用意したレジュメ に基づいて授業をすすめます。 参考書 心理学実験指導研究会 (1985). 実験とテスト=心理学の基礎 培風館 成績評価の基準・ 方法 授業・実験への参加度、態度、レポートによって総合的に評価します。すべての課題でレポートを提出しなければ単位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	な内容	け、修正を繰り返しながら、	科学論文を書く力を養います。			
教科書は指定せず、教員が用意したレジュメに基づいて授業をすすめます。 参考書 心理学実験指導研究会 (1985). 実験とテスト=心理学の基礎 培風館 成績評価の基準・ 技業・実験への参加度、態度、レポートによって総合的に評価します。すべての課題でレポートを提出しなければ単位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	教科書					
に基づいて授業をすすめます。 参考書 心理学実験指導研究会 (1985). 実験とテスト=心理学の基礎 培風館 成績評価の基準・ 技業・実験への参加度、態度、レポートによって総合的に評価します。すべての課題でレポートを提出しなければ単位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	教科書名		著者名	出版社	金額	
成績評価の基準・ 授業・実験への参加度、態度、レポートによって総合的に評価します。すべての課題でレポートを提出しなければ単方法 位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。						
成績評価の基準・ 授業・実験への参加度、態度、レポートによって総合的に評価します。すべての課題でレポートを提出しなければ単方法 位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。		心理学宝龄毕道巫宠今 /4	085) 宝路レテフトー心理学の甘歴 地質	副節		
方法 位の取得は認めません。不正行為(他人のレポートを写す行為など)の疑いがある場合は、単位を認定しません。 留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。		`	<u> </u>		 	
留意点 授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。		I				
準備学習 実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくこと。	留意点					
	備考	2-20 G - 1 1 1 G - 1 91 70 V			No. PY322004	

科目	心理学基礎実験 II (心A)		単位数 1			
担当教員	多田 美香里、木村 年晶	、寺田 衣里				
履修対象	臨床心理学科2年秋学期					
目的	基礎分野の題材をもとに多	。理学の実験を通して実証的な考え方を学ぶことがこの科目のねらいです。心理学基礎実験Ⅱに続いて、心理学の 基礎分野の題材をもとに実験を行い、報告書を作成します。心理学基礎実験Ⅱで学んだことを活かして、さらに高度 ミデータ処理方法や考察を深めることにも挑戦しましょう。				
	「思考・判断」	売み、古典的な研究例を追試する。				
達成目標	(1)実験を通して実証的な 「技能・表現」 (1)データ集計・統計的分	技能・表現」 1)データ集計・統計的分析を行い、科学論文を作成する。				
	知識・理解」 (1)心理測定、仮説検証について説明できる。 (2)心理学の研究例について改善点やより良い検証方法の提案ができる。					
1	SD法によるイメージの測定と比較(1):心理学で広く用いられている印象判断(イメージ)を測定する方法を学びま					
2	SD法によるイメージの測定	 と比較(2):調査を実施し、集計作業を	行います。			
3	SD法によるイメージの測定	と比較(3):データの整理を行い、分析:	方法について解説します。			
4	SD法によるイメージの測定と比較(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。					
5	ミュラー・リヤーの錯視(1):私たちに見えているままの世界と物理的世界は必ずしも同じではありません。本実験は 錯視の現象についてミュラー・リヤーを用いて実験を行います。この回は錯視の現象および実験方法を解説します。					
6	ミュラー・リヤーの錯視(2)	ミュラー・リヤーの錯視(2):実験を実施し、集計作業を行います。				
7	ミュラー・リヤーの錯視(3)	ミュラー・リヤーの錯視(3):データの整理を行い、分析方法について解説します。				
8	ミュラー・リヤーの錯視(4):レポート作成指導と個別質問受付を行います。					
9	行動観察(1):行動を観察し、記録し、分析することで行動の特徴や法則性を明らかにする手法を体験します。観察から得たデータの分析方法や発話などの情報の扱い方を学びます。この回は、実験の意義と実験方法を解説します。					
10		プ。 行動観察(2):実験を実施し、集計作業を行います。				
11	├── 行動観察(3):データの整	理を行い、分析方法について解説します	0			
12	 行動観察(4):レポート作り	或指導と個別質問受付を行います。				
13	実習のまとめ(1):これまでの実習で学んだことを確認するための課題を行います。課題は、レポート(ある大学生が作成したと想定する)を添削するというものです。自分が学んだ知識を生かして、このレポートがより良いものになるように、間違いを指摘したり、アドバイスを書き込みましょう。					
14	実習のまとめ(2):前回に	実習のまとめ(2):前回に続いて、レポート添削課題を行います。				
15		とレポート添削課題を元に、実験およびレ	 √ポート作成に関する個別質問を受	 むけ付けます。		
授業形態/具体的 な内容		:行います。順番は班によって異なります。 ら、科学論文を書く力を養います。	。 実習の報告書としてレポートを持	是出し、添削を		
教科書						
教科書名		著者名	出版社	金額		
教科書は使用せす 基づいて授業をすす	「、教員が用意した教材に 「めます。					
参考書	心理学事験指道研究会 (·	1985). 実験とテスト=心理学の基礎 培	風館			
参名音 成績評価の基準・	`	1000): 英級とケストー心程子の基礎 名: 接、レポートによって総合的に評価します		 しなけわ.ば単		
方法		また、不正行為(他人のレポートを写すな)				
留意点						
準備学習		授業中は、実験の実施に適した環境づくりを各自心がけてください。 心理学基礎実験 I で習得したことを深めていきます。以前添削を受けたレポートや、実習の反省点などを振り返って 復習しておいてください。また、理解を深めるために、実験心理学、心理学研究法に関する書籍を読んでおくことを推 奨します。				
備考			No.	PY322005		

科目	心理学調査実習 I		単位数	1
担当教員	宇惠弘		十世級	ļ'
履修対象	臨床心理学科3年春学期			
目的	心理学の代表的研究法 成方法とその回答方法、な とが目的です。まず、質問	の1つである質問紙調査法につし ならびに調査の手続きと、尺度構 項目作成時に留意する点を学び 目を使用して調査を実施し、収集	成のプロセスを理 、実際に質問項	理解・体得するこ 目を作成しま
達成目標	(2)質問紙調査を実施する (3)意欲的に、項目の分析 「思考・判断」 (1)人間の行動、態度、思 (2)分析結果をもとに、項 「表現・技能」 (1)コンピュータを利用し、 「知識・理解」 (1)質問項目の作成方法	は考などを的確にとらえる項目とな 目が妥当であるか考えることがて 質問紙の作成からデータの入力 について理解し、実践で役立てる 解し、実践で役立てることができる	こっているか考え. ぎきる。 までをおこなうこ ことができる。	ることができる。
授業計画				
1	質問紙調査法とは/他の			
2		内容の明確化、項目作成の方法		
3	項目作成の基礎2/質問			
4		作成にあったての注意事項、ワー	-ディング、内容	妥当性の検討
5	回答方法選択の基礎			
6	フェースシートの作成			
7	サンプリングの方法、調査	の実施方法		
8	調査倫理の問題			
9		ング、コーディング、欠損値の処理	里	
10	資料の整理2			
11	資料の整理3			
12	項目分析1/項目困難度	1		
13	項目分析2/項目困難度	2		
14	項目分析3/項目識別力	1		
15	項目分析4/項目識別力	2		
授業形態	実習			
教科書				
教科書名		著者	出版社	金額
心理学マニュア	ル 質問紙法	鎌原・宮下・大野木・中澤 編著	北大路書房	1,500円+tax
参考書				
成績評価の基 準・方法	学習意欲 40% 課題提出状況と学習内容	確認試験 60%		
留意点	課題の提出を頻繁に求め	ます		
準備学習	心理統計学の学習を終え	ている、あるいは本年度履修して Excelの操作に熟達していること。		しい。
供 支				
備考				

科目	心理学調査実習Ⅱ		単位数	1
担当教員	宇惠 弘			
履修対象	臨床心理学科3年秋学期			
目的	心理学基礎実験と調査実 を理解・体得することが目	習から得られたデータに対して、 的です。	統計的手法と用	いた分析の過程
達成目標	(2)得られたデータ分析を 「表現・技能」 (1)得られたデータを集約 (2)統計解析した結果を 「知識・理解」]することができる。 Z釈することができる。]し分析する方法について理解し		
授業計画				
1	オリエンテーション			
2	MS-Excelと解析ソフトの持	操作1		
3	MS-Excelと解析ソフトの持			
4	日常的な記憶に関する実	験1/実験の概要説明		
5	日常的な記憶に関する実			
6		験3/データの集約と解析(カイ	二乗とt検定)	
7	日常的な記憶に関する実			
8	社会的促進1/実験の概	<u> </u>		
9	社会的促進2/実験とデー			
10	社会的促進3/データの			
11	社会的促進4/レポート作			
12	質問紙法(人格検査)1/	調査の概要説明		
13		質問紙法の実施とデータの収集		
14		データの集約と解析(相関と分散	(分析)	
15	質問紙法(人格検査)4/			
授業形態	実験	- 1 1177		
教科書				
教科書名		著者	出版社	金額
特に使用しない		ТАП	11 /II/C 12	3E 1X
1712/130 00				
参考書		<u> </u>		I
成績評価の基 準・方法	学習意欲 40% 課題提出状況と学習内容	確認試験 60%		
留意点	課題の提出を頻繁に求め	ます		
準備学習	心理統計学の学習を終えている、あるいは本年度履修していることが望ましい。 Excelの操作に慣れていること。			
備考				
	I.			

科目	臨床心理学実習 I (心A)		単位数	2		
担当教員	渡部 敦子、大西 見也子		.	1		
履修対象	臨床心理学科2年春学期					
目的	臨床心理学的面接の基本となる基礎的な知識や技法について学び、体験することを目的とします。					
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)臨床心理学的面接に関心をもつようになる。 (2)相手の気持ちを理解することへの関心が高まる。 「思考・判断」 (1)相手の気持ちについて考えるようになる。					
	「技能・表現」 (1)基礎的な臨床心理学的面接ができるようになる。 (2)日常場面でのコミュニケーション能力が高まるようになる。 「知識・理解」 (1)臨床心理学的面接の実践が理解できるようになる。					
授業計画	T					
1	オリエンテーション(担当:	度部•大西)				
2	人を援助するとは(担当:派	隻部)				
3	話を聴くということ/自分と	:相手の感情に耳を傾ける(担当:渡部)				
4	自分と相手の価値観を理解	解する(担当:渡部)				
5	話を進めるための援助(担	.当:渡部)				
6	非言語的なコミュニケーシ	ョンの理解(担当:渡部)				
7	言語的な技法について(担	!当:渡部)				
8	事例について考える/前	半のまとめ(担当:渡部)				
9	傾聴の演習①自分自身の感情に耳を傾けることについて学び、実習します。(担当:大西)					
10	傾聴の演習②クライエントの感情に耳を傾けることについて学びます。(担当:大西)					
11	傾聴の演習③クライエントの感情に耳を傾ける実習をします。(担当:大西)					
12	傾聴の演習④クライエントのものの見方に耳を傾けることについて学びます。(担当:大西)					
13	傾聴の演習(5)クライエントのものの見方に耳を傾ける実習をします。(担当:大西)					
14	傾聴の演習⑥お互いのものの見方を理解することについて学び、実習をします。(担当:大西)					
15	全体のまとめと振り返り(技	旦当:大西)				
授業形態/具体的 な内容	講義および演習形式。					
教科書						
教科書名		著者名	出版社		金額	
指定教科書なし。適	宜プリントを配布します。					
参考書	適宜、授業内で紹介します	0	<u> </u>		ı	
成績評価の基準・ 方法	受講態度、提出物等から総合的に判断します。					
留意点	実習には積極的に取り組んでください。					
準備学習	授業で学んだことについて、日常生活の中ではどのように応用できるか考えてみることで、より自分自身のものにすることができます。					
備考	渡部、大西が半分ずつ担当	 当します。		No.	PY422002	

科目	臨床心理学実習Ⅱ (心A)		単位数 2			
————————— 担当教員	三田村 仰、大西 見也子					
	臨床心理学科2年秋学期					
目的	臨床心理学実習 I では、学派や技法を超えて心理面接において求められる基本的な姿勢や態度について学んだと思います。 臨床心理学実習 II では、基本的な姿勢を基盤としながら、各学派において提唱され有用とされてきた心理的援助技法の中から、認知行動療法等の心理的援助技法を取り上げて、オムニバス形式で実習を行います。					
達成目標	「態度・関心・意欲」 (1)現代社会におけるこころの問題に対して、より具体的な心理援助について考えようとする姿勢を養う。 「思考・判断」 (1)多種多様な心理的問題を理論的枠組みを用いて理解し、援助の方向性を考える力をつける。 「技能・表現」 (1)こころの問題に対して、心理学論に基づいた心理的援助技法を用いた援助のあり方を考える力を高める。 「知識・理解」 (1)認知行動療法等の心理援助技法を体験を通して身につける。					
授業計画	T					
1		要:心理的援助について進め方の説明	(担当:三田村・大西)			
2	アサーションとは (担当:3	三田村)				
3	上手に断る (担当:三田村	寸)				
4	上手に頼む (担当:三田村	寸)				
5	ありがとうと褒め言葉を使う	う (担当:三田村)				
6	誤解を解く、反対意見を言	う(担当:三田村)				
7	難しい対人場面での対応を	を工夫する (担当:三田村)				
8	まとめ/授業前半のふり返り	リ(担当:三田村)				
9	ロール・プレイ①「いじめ」	の事例をもとに、クライエントの感情に耳	を傾ける体験をします (担当::	大西)		
10	臨床心理学的面接の基礎	①知識と技法を学び、クライエントのここ	ろの状態を理解します (担当:	大西)		
11	ロール・プレイ②「虐待」の)事例をもとに、クライエントの感情に耳を	・傾け、理解する体験をします	(担当:大西)		
12	臨床心理学的面接の基礎	②面接のプロセスについて学びます (担当:大西)			
13	ロール・プレイ③「不登校」	の事例をもとに、理解したことをクライエ	ントに伝える体験をします(担	当:大西)		
14	ロール・プレイ④「発達障害西)	ロール・プレイ④「発達障害」の事例をもとに「今、ここでhere&now」をクライエントに伝える体験をします (担当:大西)				
15	臨床心理学的面接の振り	返り(担当:大西)				
授業形態/具体的 な内容	実習形式(ワーク、ロール)	プレイ、ディスカッション)を中心に行う。				
教科書						
教科書名		著者名	出版社	金額		
参考書	授業の中で、適宜紹介する					
成績評価の基準・ 方法	学習意欲、受講態度、提出物などにより総合的に評価する。					
留意点	実習中心であるため、無断	f欠席、遅刻は厳禁。また、受講生には 積	<u>極的な参加が求められる。</u>			
<u> </u>	普段から新聞やテレビで報道されている社会的問題に意識を向けて、どのような援助・介入が可能かを考えるようにしましょう。記事をスクラップしておくのもいいかもしれません。					
準備学習			て、とのような援助・介入か可能	かを考えるように		

科目	臨床心理学実習Ⅲ (心A)		単	i位数	2
担当教員	谷向 みつえ		I		I
	臨床心理学科3年秋学期				
目的	柏原市の子育て広場ほっとステーションで乳幼児の親子とかかわる体験を通して、臨床心理学的視点から子育て支援の意味や方法について学び、考えを深める。また異世代の人とかかわるカ、支援するカ、さらには親性の力をも 涵養することを目的とする。臨床心理学的な視点をもって地域と交流してみよう。				
達成目標	(2)利用者とかかわること 「思考・判断」 (1)人を「支援する」という。 (2)乳幼児の発達や親子「 表現・技能」 (1)自分とは異なる世代の (2)乳幼児とかかわり、言 「知識・理解」	て、親になることに興味や関心を持で「支援する」ことに関心や意欲を持意味について深く考え、自分の価値関係について心理学的見地から見かんの話しを傾聴するスキルが磨か葉を主体としないコミュニケーションの関係性について理解が深まり、への理解が深まる。	寺つ。 重感を持つように 立ての気づきが かれる。 ッカがつく。	得られるようにな	3 .
授業計画	T				
1	オリエンテーション/本実	習の目的と実習施設の説明および!	実習内容につい	て	
2	子育でを支援する臨床心理	里学的な意義/現代の親や子ども	の心理や子育で	環境の現状につ	いて考える
3	子育て支援とは/地域子	育て支援拠点の活動内容について	学習する		
4	乳幼児期の子どものすがた	た/乳幼児期の発達の復習と乳幼	児発達アセスメ	ントについて学ぶ	
5	乳幼児期の親子関係の特	徴/親子とかかわるためのヒントを	き考える		
6	学外現場実習①/子育で	広場の様子を観察してみよう			
7	カンファレンス(1)/学外刊	見場実習①の振り返り			
8	学外現場実習②/子ども	やお母さんとかかわってみよう そ	の1		
9	カンファレンス(2)/学外班	見場実習②の振り返り			
10	学外現場実習③/子ども	やお母さんとかかわってみよう そ	0 2		
11	カンファレンス(3)/学外理	見場実習③の振り返り			
12	学外現場実習④/子ども	やお母さん、地域の方とかかわって	こみよう		
13	学外現場実習(5)/広場に	よける支援の意味について考えて	みよう		
14	カンファレンス(4)/学外理	見場実習(4)(5)の振り返り			
15	まとめ 一実習から得られ				
授業形態/具体的 な内容	講義、演習形式、学外現場	場実習(柏原市子育て広場ほっとス・	テーション)		
教科書					
教科書名		著者名	出版社		金額
適宜、資料を配布す	⁻ る				
参考書	「子どもの心の発達がわか 「乳幼児の発達障害診療を	・ 子育ての発達心理学」遠藤利彦・ ・る本」 小西行郎/ 講談社 マニュアル 健診の診かた・発達の(バラインの手引き・子ども家庭福祉・	促しかた」 洲鎌	盛一,医学書院	;
成績評価の基準・方法	実習指導者からの意見を認	価、実習記録等を総合して評価する 評価に加味する。学外実習は指定る 満たさない場合は評価外となる。			

留意点	臨床心理学実習 I・II で習得したスキルや、発達心理学等で学んだ知識をフルに活用して実習に臨むこと、また自ら積極的に行動をおこすことにより多くの成果が得られる。			
準備学習	乳幼児発達心理学、子育て臨床心理学が履修済みもしくは併修であることが望ましい。			
備考	学外現場実習において健康への配慮、遅刻・欠席等の諸連絡は各自の社会的責任事項として しっかりと自己管理してください。また、利用者に対しては倫理的配慮を守り安全で失礼のない 実習態度を遵守してください。		PY622002	

₩ □	ちょう 理学 史 羽 エ (ふ p)		₩ /± ₩,	2		
科目	臨床心理学実習Ⅲ (心B)					
担当教員	久保 信代 					
履修対象	臨床心理学科3年秋学期				<i>t</i> */= 00	
目的	発達障碍児・者の対人関係を円滑にするための心理教育的支援として、ソーシャル・スキル・トレーニング(以下、SST)の知識と技法を実践的に学び、習得することを目的とします。まずは担当教員のファシリテートによってSSTを自ら体験していただき、最終的には他者のソーシャルスキル習得を支援するための演習を行います。					
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)人の行動、及びその行動の背後にある心について関心を持つ。 (2)発達障碍児者に対するソーシャルスキルの向上のための技法について関心を持つ。 「思考・判断」 (1)発達障碍児者を支援することの意味について考え、自分の障碍観を確立する。 (2)発達障碍児者に起こりやすい対人関係の困難さについて、心理学的見地から見立ての気付きを得る。 「表現・技能」 (1)SSTに参加し、自らのソーシャルスキルを習得する。。 (2)他者支援のためのプログラム作成にあたり、他の受講者と建設的な協議を行うことができる。 (3)人間の行動を分析し、SSTの技法をベースに心理臨床的な関わりを提供することができる。 「知識・理解」 (1)発達障碍児者のSSTの考え方、技法について理解が深まる。 (2)発達障碍児者の心情に配慮した対応について考えることができるようになる。					
授業計画	_					
1	オリエンテーション(自己紹	3介、 授業概要等)				
2	講義:発達障碍児者へのS	STの理論と技法				
3	<u> </u>	に関わるソーシャルスキル)				
4	SST②(コミュニケーション	に関わるソーシャルスキル)				
5	SST③(コミュニケーション	に関わるソーシャルスキル)				
6	カンファレンス①:SSTプロ	1グラム参加へののふりかえり				
7	講義:SST実施に際する環境的配慮					
8	講義:SST実施に際しての	講義:SST実施に際してのアセスメント				
9	SSTのプログラムの作成①					
10	SSTのプログラムの作成②					
11	SSTプログラムの実践①					
12	SSTプログラムの実践②					
13	SSTプログラムの実践③					
14	カンファレンス②:SSTプロ	1グラム指導者としてのふりかえり				
15	総括: これまでの学びのま	とめ				
授業形態/具体的 な内容						
教科書						
教科書名		著者名	出版社		金額	
授業で指示をする						
参考書	「実践ソーシャルスキルマニュアル」上野一彦ら(明治図書2006) 「LD、ADHD、高機能自閉症児へのライフスキルトレーニング」小貫悟ら(日本文化科学者2009) 「子どもと大人の架け橋」村瀬嘉代子(金剛出版2009)					
成績評価の基準・ 方法	①授業への出席 ②発表 ③試験によって総合的に評価します。 出席回数が全体の2/3である場合には不可とします。					
留意点	 能動的な参加を期待します。技能の学習ですので欠席のないようにお願いします。					
	発達障碍を有する児・者へのアセスメント法や支援技法について学んでおくこと					
備考		<u> </u>		No.		
-	I			1	1	